

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	松本市	
共同提案者名	大野川区、信州大学	
選定回	第1回	
重点選定モデル①		
重点選定モデル②		

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	観光振興
地域脱炭素の基盤創出	住民等の行動変容（地域通貨・スポーツ等との連携）
需要家・エリア設定	その他（需要家・エリア設定）
創出する再エネの種類・導入技術等	水力発電

交付金の交付を受けて交付対象事業が開始された年月	2022/5/11
--------------------------	-----------

1.基礎情報（計画の変更箇所）
【令和4年度進捗報告票】より 【計画提案書】 現時点では計画提案書の変更が必要となるような大幅な変更はありません。 【事業計画書】 （１）事業種別：再エネ設備整備 地元からの要望もあり、太陽熱事業を新たに追加した（事業費は、他の再エネ設備整備事業分を変更したため、変更ありません。）。 （２）事業種別：効果促進事業 効果促進事業として、地元事業者や一般家庭を対象に既存設備の運用改善や新たな設備導入を促進するための支援事業を追加している（事業費＋6,000千円（2か年））。 （３）R 4 年度交付対象事業の一部を R 8 年度実施に変更 R 4 年度未実施分の宿泊施設や一般家庭等における設備導入を R 8 年度実施へ変更した。 【令和5年度進捗報告票】より 【全体】 主軸再エネとなる小水力発電に関し、基本設計完了に併せて小水力発電の事業性の精査を優先して進めていることから、R 5 年度末に完了を予定していた S P C 座組（各企業の出資・参画）が R 6 年度上半期にずれ込んでいる。 【事業計画書】 (1) ゼロカーボンパーク拠点施設（のりくら観光センター）ZEB化について、令和 5 年度はPFIの導入可能性調査を実施したことから、設計及び施工時期を後年度に見直した。 (2) R 5 に新規計上した宿泊施設や一般家庭における太陽熱温水器の導入を、R 6～8 の 3 年間も継続して導入する計画とした。

<選定当初の計画値との比較>

種類	(E) 現在の 計画値	(F) 選定当初の 計画値	(E)－(F) 現在と 選定当初の 計画値の 比較
民生部門の電力需要量（kWh/年）	3,303,148	3,303,148	0.0%
再エネ等の電力供給量（kWh/年）	4,377,317	5,384,870	-18.7%
省エネ等による電力削減量（kWh/年）	220,536	220,536	0.0%
自家消費等の割合（%）	56.7%	56.7%	0.0%
「再エネ等の供給量の合計」のうち先行地域のある 地方公共団体内で発電する再エネ電力量の割合（%）	163.0%	163.0%	0.0%

2-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

再エネ等の電力供給量 (A)

2.9884945

(%)

(kWh/年)

+

省エネによる電力削減量 (B)

0.003689

(%)

(kWh/年)

) ÷

民生部門の電力需要量 (C)

3,303,148

(kWh/年)

=

3

(%)

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				省エネ等 による 電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考		
				内訳								
				自家消費等	相对契約	再エネ メニュー	証書	合計				
民生・家庭	戸建住宅	128	599,895	0	0	0	0	0	122	2,410		
	その他							0				
民生・ 業務その他	オフィスビル							0				
	商業施設							0				
	宿泊施設	81	1,720,585	98,714	0	0	0	98,714				
	その他	16	524,963	0	0	0	0	0				
公共	公共施設	17	457,705	0	0	0	0	0	0			
	その他							0				
合計			3,303,148	98,714	0	0	0	98,714	122	2,410		

2-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
21.9	24.8	37.5							84.2

※対象年度中に導入完了した、先行地域事業による新規再エネ設備について記載してください（交付金充当の有無は問いません。）。

3.電力需要家との合意形成の状況

■住宅

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	地域内戸建住宅	128	C	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、住民説明会を開催し、説明

■業務その他

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	宿泊施設	81	C	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、観光協会の会合等を通じ説明
2	小売・飲食店・事業所	15	C	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、観光協会の会合等を通じ説明
3	スキー場	1	C	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、スキー場運営会社へ直接説明

■公共

No	施設名	対象施設数	合意形成 進捗度	今後の合意形成のスケジュール
1	大野川小中学校	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
2	松本市ふれあいパーク乗鞍	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
3	乗鞍保育園	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
4	乗鞍体育館	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
5	大野川診療所	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
6	安曇一般廃棄物最終処分場	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
7	乗鞍ゼロカーボンパーク拠点施設	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、指定管理者及び所管部局へ説明
8	いがやレクリエーションランド	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、指定管理者及び所管部局へ説明
9	乗鞍高原湯けむり館（日帰り温泉施設）	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、指定管理者及び所管部局へ説明
10	番所多目的広場	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、所管部局へ説明
11	長野県乗鞍自然保護センター	1	D	今後、電力価格検討を進める過程で条件等を整理し、総事業費が判明する工事着手時を目途に、施設所有者の県及び所管部局へ説明

4-1.民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロの実現に向けた進捗状況

【再エネに係るもの】

■取組①：地域裨益型小水力発電施設整備

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:kW)	単年度	環境調査	基本設計	実施設計	工事	674	0	0	0	0
		累計	0	0	0	0	674	674	674	674	674
状況	工程										
	実績 (単位:kW)	単年度	環境調査	基本設計	実施設計着手準備中						
		累計	0	0	0						

取組概況	令和5年度は6月に住民向けに環境調査結果を説明し、合意形成を実施。その後、8月にSPCを設立し、座組に着手。9月に基本設計に着手した。基本設計に並行して詳細測量及び流量解析を実施し、年度内に完了した。令和6年度は指名型によるEPCプロポーザルを実施したが、参加を表明した事業者がスケジュールを理由に辞退したため、現在公募による再プロポーザルを視野に、可能性のある事業者のサウンディングを進めている。SPCの体制確立は、構成候補を絞り込みまで進めているが、プロポーザルを通じた事業性確認を行った上で判断することから、未了
------	---

■取組②：太陽光発電整備事業（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:kW)	単年度	103.36	103.36	103.36	103.36	103.36	0	0	0	0
		累計	103.36	206.72	310.08	413.44	516.8	516.8	516.8	516.8	516.8
状況	工程										
	実績 (単位:kW)	単年度	21.9	24.8	37.5						
		累計	21.9	46.7	84.2						

取組概況	令和5年度は地域内の宿泊施設、計2軒に導入。うち1軒は系統がないオフグリッドエリアに蓄電池と同時に屋根載せ太陽光を設置した。令和6年度は9月末段階で2軒導入
------	--

■取組③：蓄電池（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:kWh)	単年度	104.02	104.02	104.02	104.02	104.02	0	0	0	0
		累計	104.02	208.04	312.06	416.08	520.1	520.1	520.1	520.1	520.1
状況	工程										
	実績 (単位:kWh)	単年度	0	27	31.45						
		累計	0	27	58.45						

取組概況	令和5年度は、①記載のオフグリッドエリアの宿泊施設1軒において、同時に導入した太陽光発電設備に接続する蓄電池2台導入。令和6年度は9月末段階で2軒導入
------	---

■取組④：太陽光発電整備事業（公共、一の瀬園地休憩施設、乗鞍ゼロカーボンパーク拠点施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			一の瀬		観光センター	公共				
	目標値 (単位:kW)	単年度	0	10	0	20	390	0	0	0	0
		累計	0	10	10	30	420	420	420	420	420
状況	工程						公共	観光センター			
	実績 (単位:kW)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0						

取組概況	令和5年度に一の瀬園地休憩施設への導入を予定していたが、荷重対策が必要なことが判明したため、導入できなかった。観光センターへの導入は再整備スケジュールの見直しに伴いR9年度へ変更予定。
------	--

■取組⑤：蓄電池（公共、一の瀬園地休憩施設、乗鞍ゼロカーボンパーク拠点施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程			一の瀬		観光センター	公共				
	目標値 (単位:kWh軒)	単年度	0	7.43	0	22.4	119.43	0	0	0	0
		累計	0	7.43	7.43	29.83	149.26	149.26	149.26	149.26	149.26
状況	工程						公共	観光センター			
	実績 (単位:kWh軒)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0						

取組概況	令和5年度に一の瀬園地休憩施設への導入を予定していたが、太陽光発電設備の荷重対策が必要なことが判明したため、導入できなかった。観光センターへの導入は再整備スケジュールの見直しに伴いR9年度へ変更予定。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

【省エネに係るもの】

■取組⑥：ＬＥＤ設置事業（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:軒)	単年度	14	14	14	14	14	0	0	0	0
		累計	14	28	42	56	70	70	70	70	70
状況	工程										
	実績 (単位:軒)	単年度	0	0	0						
		累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0	0						

取組概況	前年度に続き、令和５年度も導入実績が０となった。調光制御機能の付加によるコスト増などを背景に導入が進んでおらず、計画通りの導入が困難な状況。令和６年度は導入予定あり（相談受付中）。
------	--

■取組⑦：木質バイオマストーブ導入事業（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:軒)	単年度	14	3	14	14	22	0	0	0	0
		累計	14	17	31	45	67	67	67	67	67
状況	工程										
	実績 (単位:軒)	単年度	6	7	1						
		累計	6	13	14						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	11	26.82	29						

取組概況	令和５年度は７軒導入（うち４軒が薪ストーブ）。累計では目標値を下回る状況だが、他の設備に比べて導入が進んでいる。今後事業が本格化する木の駅事業と連動し導入の動きを更に広げ、灯油暖房からの切り替えを地域全体で進めていく。令和６年度は９月末時点で１軒導入済み。
------	--

■取組⑧：既存住宅断熱改修事業（民家）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:軒)	単年度	8	8	8	8	8	0	0	0	0
		累計	8	16	24	32	40	40	40	40	40
状況	工程										
	実績 (単位:軒)	単年度	0	1	0						
		累計	0	1	1						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0	0.12	0.12						

取組概況	令和５年度は、窓改修１軒にとどまった。全体では導入が低調で、改修率要件への適合の面で条件が合わない（全く使用していない居室への対策も求められるなど）ことから、計画通りの導入は困難な状況
------	--

■取組⑨：高効率空調設備導入事業（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:軒)	単年度	28	2	28	28	54	0	0	0	0
		累計	28	30	58	86	140	140	140	140	140
状況	工程										
	実績 (単位:軒)	単年度	2	5	14						
		累計	2	7	21						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	27.42	71.28	239.04						

取組概況	当初計画よりも低調なものの、宿泊施設を中心に導入が広がっており、令和６年度は9月末現在で14軒の導入申請があり、増加している。灯油暖房から寒冷地仕様の高効率エアコンへの置き換えにより、ＣＯ２削減効果の積み上げが期待される。
------	---

■取組⑩：高効率給湯機器導入事業（民家・宿泊施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値 (単位:軒)	単年度	14	2	14	14	26	0	0	0	0
		累計	14	16	30	44	70	70	70	70	70
状況	工程										
	実績 (単位:軒)	単年度	2	7	8						
		累計	2	9	17						
CO2削減効果	実績 (単位:t-CO2)	累計	0.63	2.68	5.07						

取組概況	当初計画より低調なものの、温泉の保温で給湯機器の利用があり、宿泊施設を中心に高効率機器への置き換えが増えてきている。令和６年度は9月末時点で８軒の導入があり、宿泊施設では複数台更新するケースもあった。
------	--

■取組⑪：一の瀬園地休憩施設への省エネ設備導入（薪ストーブ・薪ボイラー・ＬＥＤ）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値	単年度	0	3	3	3	3	3	3	3	3
	(単位:設備数)	累計	0	3	3	3	3	3	3	3	3
状況	工程				薪ストーブ						
	実績	単年度	0	0	申請受付中						
	(単位:設備数)	累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績	累計	0	0	0						
(単位:t-CO2)											

取組概況	薪ボイラー・ＬＥＤの導入は、休憩施設側の都合により設置を見送った。薪ストーブは導入予定だったが、令和５年度に実施した施設リノベーションにより調達と施工が間に合わなかったため、Ｒ６に導入（申請受付中）
------	---

■取組⑫：乗鞍ゼロカーボンパーク拠点施設（観光センター）のZEB化

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値	単年度	基本構想・基本計画	基本設計	実施設計	工事	工事				
	(単位:件)	累計									
状況	工程										
	実績	単年度	基本構想・基本計画	P F I 検討	基本設計	実施設計	工事	工事			
	(単位:件)	累計	基本構想・基本計画	P F I 検討	基本設計						
CO2削減効果	実績	累計	0	0	0						
(単位:t-CO2)											

取組概況	令和５年度はP F I 導入可能性調査を実施したことに伴い、進捗に遅れが出ている。加えて、施工スケジュールの精査を進める中、竣工が当初計画時よりも後年度にずれ込む見込みであるが、Z E B 化を前提に令和６年度基本設計に着手した。
------	---

■取組⑬：ＬＥＤ設置事業（公共施設）

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値	単年度	0	0	0	0	9	1	0	0	0
	(単位:件)	累計	0	0	0	0	9	10	10	10	10
状況	工程										
	実績	単年度	0	0	0						
	(単位:件)	累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績	累計	0	0	0						
(単位:t-CO2)											

取組概況	Ｒ７年度に設計を実施し、Ｒ８年度に工事、設置する計画としている。なお、観光センターのＬＥＤ導入はスケジュール見直しに伴いＲ９へ変更している。
------	--

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

4-2.民生部門電力以外の温室効果ガス排出削減等の進捗状況

■取組⑭：グリーンスローモビリティの導入

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値	単年度	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	(単位:台)	累計	0	0	0	1	1	1	1	1	1
状況	工程										
	実績	単年度	0	0	0						
	(単位:台)	累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績	累計	0	0	0						
(単位:t-CO2)											

取組概況	観光センター再整備事業スケジュールの見直しに合わせ、後年度（Ｒ９）へ変更する可能性あり
------	---

■取組⑮：ＥＶバスの導入

			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
計画	工程										
	目標値	単年度	0	0	0	0	2	0	0	0	0
	(単位:台)	累計	0	0	0	0	2	2	2	2	2
状況	工程										
	実績	単年度	0	0	0						
	(単位:台)	累計	0	0	0						
CO2削減効果	実績	累計	0	0	0						
(単位:t-CO2)											

取組概況	導入ニーズについて再度宿泊施設への調査を実施したい。
------	----------------------------

※必要に応じ、進捗状況を示す参考資料を提出してください。その場合、上表中に参考資料名を記載してください。

※取組概況は3~5行程度で記載してください。

5-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	3,259,009	3,259,009	3,259,009	4,442,165	13,032,894	15,577,128	8,713,525	8,713,525	8,713,525
	累計	3,259,009	6,518,018	9,777,027	14,219,192	27,252,086	42,829,214	51,542,739	60,256,264	68,969,789
実績	単年度	721,214	820,140	1,234,956						
	累計	721,214	1,541,354	2,776,310						

5-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：再エネ施設運用益等を活用し実施する地域事業数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度 事業数	0	0	0	0	0	0	1	1	1
	累計 事業数	0	0	0	0	0	0	1	2	3
実績	単年度 事業数	0	0	0						
	累計 事業数	0	0	0						

実績詳細	当該KPIは、地域裨益型小水力発電施設稼働後に具体化されるものである。稼働開始後、一定期間は整備費用の返済が主となってくが、売上の一部を地域貢献活動費として計上することで、できるだけ早期に地元の課題解決等に充当できる資金計画とすることが可能かどうか、内部で検討している。
------	---

■指標②：乗鞍高原地域観光客 平均宿泊日数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度 日本人（日）	2	2.2	2.4	2.6	2.8	3	3.2	3.4	3.5
	単年度 外国人（日）	3	3.4	3.7	4	4.3	4.6	4.9	5.2	5.5
実績	単年度 日本人（日）	1.4	集計中							
	単年度 外国人（日）	1.7	集計中							

実績詳細	（実績値判明後に記載します。）
------	-----------------

■指標③：大野川区人口 社会増減数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度	0	2	2	4	2	2	2	2	4
	累計	0	2	4	8	10	12	14	16	20
実績	単年度	-2	-13							
	累計	-2	-15							

実績詳細	前年度同様、市外転出者・転入者の差引ではプラスであったが、大野川区から松本市内他地区への転居者が多かったため、大野川区単体のトータルとして社会減となった。 都市部で実施する移住相談会に年2回開催するとともに、市が新たに制度化した「松本デュアルスクール」（区域外就学）を通じ、恵まれた自然環境や地域特性を生かした独自の多様な学習体験の場を提供するなど、サステナブルリゾートとしての魅力を訴求する中で、着実に移住者が増加している。 一方で、市内他地域への転居者数が転入者数を大幅に上回る状況である。定住に向け、暮らしの質を向上させ、人や資源が集結する持続可能な地域モデルの構築が急務と認識している。
------	---

6.事業実施体制の現状

事業	事業者名	調整・協議状況	今後の進め方、課題	投資回収年数(年)
再エネ発電事業	のりくら小水力発電合同会社	詳細設計、施工、運用を担うSPCを令和5年8月に設立（法人登記）した。現時点ではデベロッパー1者で構成しているが、脱炭素に係る産官学連携プラットフォームの松本平ゼロカーボン・コンソーシアムを起点に、参画募集について説明。現在、当該事業に関心を持つ事業者数社と、事業体への参画に向け調整中。並行して、詳細設計以降の事業の発注に向け、プロポーザルによる選定を念頭に調整を進めている。	先述のとおり、資材費や労務単価の上昇が見込まれる中、事業性の確保が課題となっていることから、詳細設計・施工の一括発注プロポーザル選定前に事業性の検討を先行して進める。その上で、事業成立シナリオを定め、令和6年8月から10月にかけて指名型のプロポーザルを実施し、詳細設計に着手する予定であったが、プロポーザル参加表明者が、先行地域計画期間内の竣工が難しいことを理由に辞退した。現在、公募による再プロポーザルを視野に、可能性のある事業者のサウンディングを進めている。事業性確認後にSPCの体制構築を完了させる予定だったが、プロポーザルに至っていないことから、未了 事業性の精査及び体制構築に時間を要していることから、事業期間の見直し（延長）を検討中	内部算定中につき 非公開
小売電気事業 （地域新電力）	松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社 （地域エネルギー事業会社）	令和4年度に事業会社設立に向けた調査事業を実施。令和5年度は中核予定企業（地元都市ガス会社）と、採算性の確保などを踏まえた、初期の事業内容等事業計画について調整を実施。令和6年2月に市議会の所管委員会へ、中核予定企業について報告するとともに、事業計画の概要及び市の出資の考え方等について報告した。 令和6年8月、松本ガス株式会社を中核とし、松本市も出資する松本平ゼロカーボンエネルギー株式会社を設立した。	当該事業会社は市域全域を事業範囲とすることを予定しているため、安定的かつ事業性を持たせた電力の調達先の確保が必要。 また、先行地域内の需要者に対する電力料金の設定について、電力小売側の収支検討の視点から、小水力発電事業者側との検討、協議に着手している。 しかし、資材費の高騰により事業費が高くなることで、買取価格の値上げが求められる一方、設立したてで電力確保、需要家確保をしていく段階の地域新電力では、買取価格の設定に苦慮しており、調整が難航している。	自社での電源開発は現時点で行っていない。

※必要に応じて行を追加・削除してください。

7.事業継続性（横展開の可能性等の観点を含む）の見込みについて

事業継続性の見込み
主軸再エネの小水力発電事業において、指名型プロポーザルの結果、唯一参加を表明した事業者がスケジュールを理由に辞退したため、現在、M Z C C会員企業外へ枠を広げ、可能性のある事業者のサウンディングを進めている。その上で公募によるプロポーザル実施（1 1 月）、及び年内の詳細設計着手を目指し準備を進めている。 また、スケジュール面だけでなく、計画当初に比べ資材や労務単価が著しく上昇しており、売電単価の設定も含め、事業採算性の確保が課題がある。加えて、事業者の発電事業 S P C への出資参画も、事業性の確保を前提とするものであり、体制確立に至っていない。

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について
乗鞍高原の事業を通じ、地域裨益モデル（電源所在地域への利益還元）の実装策や、事業採算性の確保など諸課題への対応策の検討を進める中で、現在松本市として、再生可能エネルギー設備（施設）の設置・稼働後、一定期間、固定資産税相当額分を補助する「地産地消・地域裨益型再生可能エネルギー総合支援補助金」の創設を検討している。小水力発電事業に限らず、太陽光、地熱など、他の再エネ開発にも広く活用できる支援策を講じ、資材費上昇等事業環境が厳しさを増す中においても、再生可能エネルギーの導入拡大を図っていくとともに、地域裨益型の再エネ開発に対しインセンティブを持たせることで、地域と共生する再生可能エネルギーの導入実例を広げていきたいと考えている。

8.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況
当該計画は、脱炭素先行地域申請前に地元が主導して策定した地域ビジョン「のりくら高原ミライズ」の具体化を主目的とするものである。乗鞍高原の地域特性や課題となっている「環境・観光・暮らし」の3要素を切り口に、持続可能な地域づくりを進める計画としており、地域の将来ビジョンと密接に結びついたものであると認識している。